



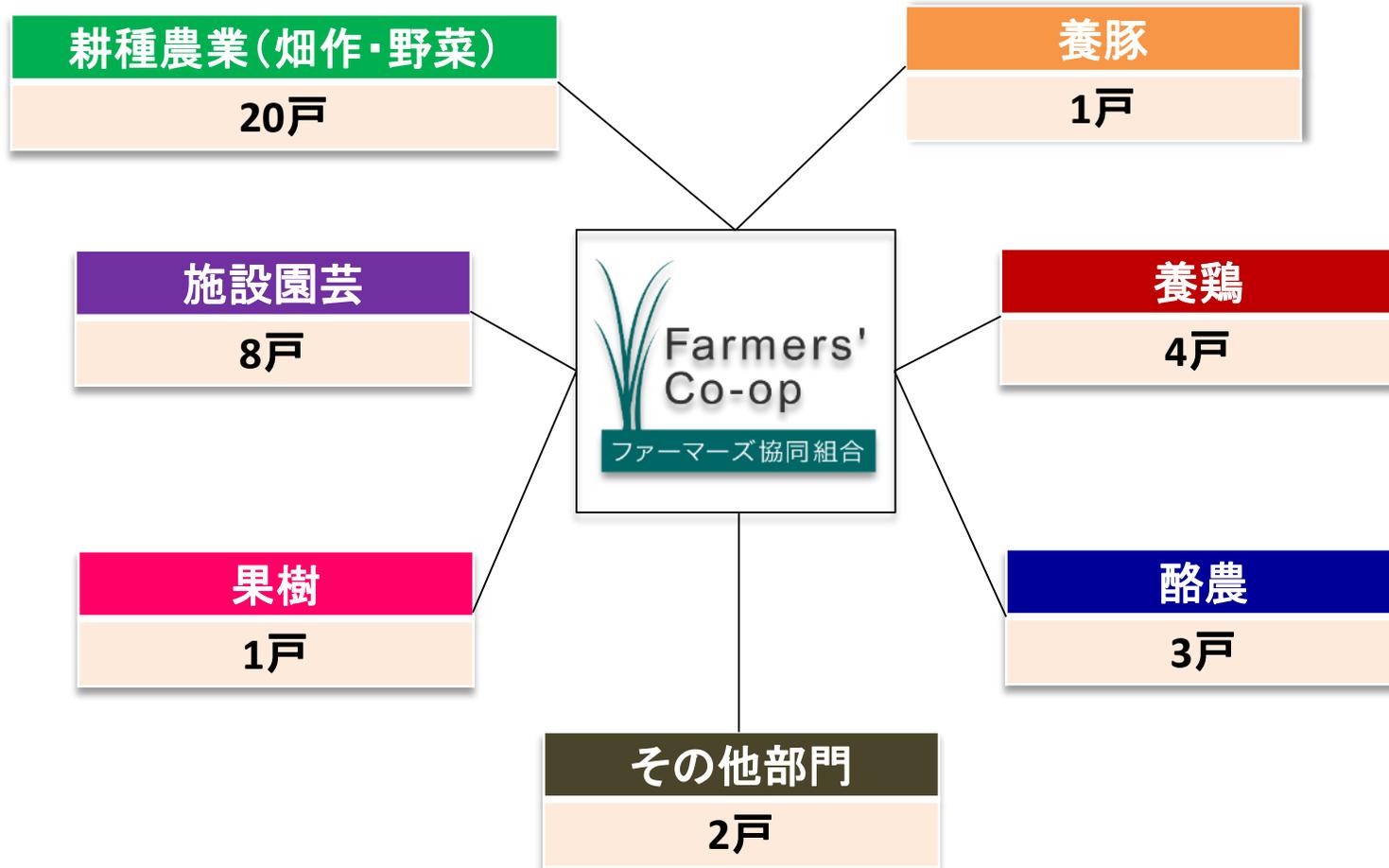
香川県ファーマーズ協同組合 の取り組み

～外国人材の雇用とカンボジア・ベトナム・ラオスの現況～

近藤 隆

令和元年7月19日

ファーマーズ協同組合とは…39戸（全58戸）



ファーマーズ協同組合外国人技能実習生受入人数

	カンボジア	ラオス	ベトナム	フィリピン
1号	24	21	2	4
2号	46	59		7
3号	17	6		
合計	87	86	2	11

総合計186名

2016年から徳島ファーマーズ分離

2019年5月31日現在

香川県におけるファーマーズ協同組合の 外国人技能実習生（研修生）受入の変遷

年	摘 要
1993	技能実習制度がスタート
1994	J A 香川県（旧青果連）が窓口となり受入を開始
1995	日中農交から中国研修生の受入を行う（1年間）
2000	技能実習制度改正により農業分野での3年間の受入が可能となる J A 香川県が第一次受入機関（現在の管理団体）として受入事業を開始
2001	インドネシアからの受入開始
2002	インドネシアからの受入終了 香川県農業協同組合外国人研修生受入連絡協議会設立
2003	中国南昌市（高松市との友好姉妹都市）からの受入開始
2004	タイ 受入開始
2005	中国西安市（香川県と陝西省は友好姉妹都市）からの受入開始
2007	ラオスからの受入開始
2008	ファーマーズ協同組合設立
2009	カンボジアからの受入開始
2010	香川県農業協同組合外国人研修生受入連絡協議会解散 香川県農業協同組合外国人農業技能実習生受入連絡協議会設立 ファーマーズ協同組合受入開始（4月にJ A 香川県から移籍） 新しい研修・技能実習制度開始（在留カード）
2014	ネパールからの受入開始 アグリファーマーズカンボジア設立
2016	タイからの受入終了
2017	フィリピンからの受入開始 ネパールからの受入終了 新技能実習制度が開始
2019	ベトナムからの受入開始 特定技能1号による外国人材受入開始予定（6月28日登録支援機関の認可）

香川県農業協同組合販売高

	平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	人数	%	金額(千円)	%	人数	%	金額(千円)	%	人数	%	金額(千円)	%	人数	%	金額(千円)	%
JA販売高																
1億円以上	26	0.1	8,302,869	22	31	0.1	9,467,175	23.8	33	0.2	9,805,807	24.6	33	0.2	9,085,551	23.9
5000万円以上	78	0.4	11,927,700	31	87	0.4	13,292,768	33.5	92	0.4	13,922,184	35	85	0.4	12,698,152	33.4
1000万円以上	614	2.8	21,775,147	56	616	2.9	23,189,507	58.4	575	2.7	22,711,650	57	571	2.7	21,674,281	57
200万円以上	3,094	14	32,787,101	85	2,984	14	33,741,442	85	3,004	14	33,502,456	84.1	2,903	14	31,994,654	84.1
200万円未満	18,816	86	5,788,075	15	18,378	86	5,967,930	15	18,541	86	6,327,314	15.9	17,790	86	6,054,713	15.9
合計	21,910		38,575,176		21,362		39,709,372		21,545		39,829,770		20,693		38,049,367	

技能実習及び特定技能の制度

外国人滞在期間

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
技能実習1号	1年間									
技能実習2号（技能実習1号から）	1年間	2年間								
技能実習3号（技能実習2号から）	1年間	2年間	2年間							
特定技能1号（技能実習2号から）	1年間	2年間	5年間							
特定技能1号（技能実習3号から）	1年間	2年間	2年間	5年間						

 は技能実習  は特定技能1号

農業関係（2職種6作業）

80職種144作業

職種名	作業名
耕種農業	施設園芸
	畑作・野菜
	果樹
畜産農業	養豚
	養鶏
	酪農

2職種6作業以外は技能実習1号のみ
（特定技能1号には無試験でいけない）

特定技能は職種のみ
（技能実習2号、3号修了者は無試験）

カンボジア

年	適 用
2006	カンボジア着手
2009	受け入れ開始
2012	土地購入（登記）
2014	帰国実習生を雇用
	整地（基盤整備）、貯水池、寮建設など
	会社登記
2015	管理棟建設
2017	送り出しライセンス取得
2018	プレーリップ農業大学とMOU締結

2014年 現地法人（送り出し機関）を設立

- 技能実習生の金銭負担の軽減
- 効果的な事前準備（選考・語学研修・農業実習）
- 技能実習生の戦略的登用



上：日本語研修及び宿泊棟 下：日本語研修風景



ベトナム

2012	ラムドン省ダラット調査
2013	ニンニク種子輸出許可取得（日本から）
	ダラットでのニンニク試作開始（JAと）
2016	JICA筑波の視察に同行（ラムドン省、ゲアン省）
2017	JICA案件化調査開始（ゲアン省）
2018	JICA案件化調査終了（ゲアン省）
2019	ゲアン省から受け入れ開始
	JICA普及・実証事業応募

2017年 JICA民間連携事業(案件化調査)開始

- 香川県向けニンニク種子をダラット高原で栽培
- JA香川県との連携
- 技能実習生の採用開始



ニンニク畑



収穫したニンニク



在来柿



柿接ぎ木



ラオス

年	適 用
2005	ラオス着手
2007	受け入れ開始（ラオス労働省から）
2011	受け入れ開始（シンシャイ社から）
2017	シェンクアン県（モン族）着手
	ニンニク種子輸出許可取得（日本から）
	ニンニク、キウイなど試作開始
2019	現地職員採用

2017年 シェンクワン県にて産地形成事業開始

- モン族の居住地域で帰国技能実習生へ農業支援
- 高冷地のため日本の温帯果樹が栽培可能
- 優良品種の果樹の普及・販売を目指す



養雞



キウイ



キウイ



ブドウ



在来栗



在来栗



栗高接ぎ



在来梨



優良品種の梨



在来スモモ



スモモ高接ぎ



これからの課題

- 安定的に労働力を確保できるか？
 - 対外国（韓国、台湾、イスラエルなど）
 - 日本国内の異業種と都道府県の最低賃金の差
- 優秀な外国人材をどのように育て残していくか？
 - 技能実習生と特定技能1号の組み合わせ
 - カンボジアPREK LEAP大学などとのOJT（MOU）
 - エンジニア（技術・人文知識・国際業務）採用
- 現地法人（会社）を立ち上げる。
 - 産地を作り産地間協力
 - その先に見えるもの